学校番号	T0301

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 日本史Ａ 新訂版　（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年表や歴史地図等を活用して、各時代の背景や国際環境、地理的条件などと関連付けて歴史を考察しよう。
・客観的かつ公正な資料に基づいて、史実の正確な理解に努めよう。
・集団安全保障や核兵器の脅威に着目し、戦争の防止や国際平和の実現などの課題について認識を深めよう。

2　学習の到達目標

・我が国の近現代の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に理解する。
・我が国の近現代の歴史の展開を、現代の諸課題に着目して考察させることによって、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり統計や図表、地図などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察	定期考査 ワークシート 課題レポート	定期考査 ワークシート 課題レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	明治維新～立憲政体の成立	・幕府の滅亡と近代国家の成立 ・地租改正、殖産興業、文明開化 ・明治初期の国際関係 ・不平士族の反乱と自由民権運動 ・松方財政と民権運動の激化 ・立憲体制の確立 ・日清戦争～日英同盟	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:近代国家の形成と立憲政体の成立に対する関心と課題意識を高めている。 b:近代国家の形成と立憲政体の成立から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代国家の形成と立憲政体の成立に関する諸資料を収集し、活用している。 d:新政府の成立と近代化政策、不平士族の反乱と自由民権運動、日清戦争などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察
	国際的地位の向上～第一次世界大戦と日本	・日露戦争 ・韓国の植民地化 ・近代産業の発展と社会問題の発生 ・護憲運動と大正デモクラシー ・第一次世界大戦の参戦と大戦景気 ・米騒動と政党内閣の成立 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:日露戦争から第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:日露戦争から第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:日露戦争から第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、活用している。 d:日露戦争と韓国の植民地化、大正デモクラシーと政党政治、第一次世界大戦への参戦とワシントン体制などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察

後期	第二次世界大戦と日本	・関東大震災と政党内閣の時代 ・金融恐慌と外交政策 ・世界恐慌と昭和恐慌 ・満州事変と国際連盟脱退 ・二・二六事件と日中戦争 ・第二次世界大戦と日本 ・アジア太平洋戦争の勃発と日本の敗戦	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	a:恐慌の発生からアジア・太平洋戦争終結に至る歴史に対する関心と課題意識を高めている。 b:恐慌の発生からアジア・太平洋戦争終結に至る歴史から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c: 恐慌の発生からアジア・太平洋戦争終結に至る歴史に関する諸資料を収集し、活用している。 d:昭和期の恐慌と協調外交の破綻、15 年戦争と日本の国際的孤立などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察
	戦後～現代の日本	・占領と改革 ・冷戦と占領政策の転換 ・日本の独立 ・55 年体制の成立と安保闘争 ・高度経済成長 ・経済大国への道 ・冷戦の終結と55 年体制の崩壊 ・21 世紀の日本と課題	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:戦後史・現代史に対する関心と課題意識を高めている。 b:戦後史・現代史から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後史・現代史に関する諸資料を収集し、活用している。 d:占領と改革、日本の独立、高度経済成長、55 年体制の崩壊などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。